

インターネット上での「炎上」について

家族で
話し合おう

インターネット上で批判的なコメントが殺到し、收拾がつかなくなった状態のことを「炎上」といいます。「炎上」の被害にあうのは、有名人や企業だけではありません。子どもたちが被害にあってしまうケースもあります。

不適切な投稿が「炎上」する流れ

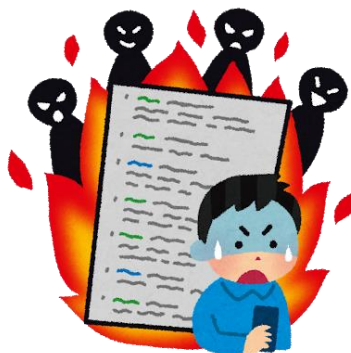
「炎上」は、SNSなどへの不適切な投稿をきっかけとして起こることがあります。例えば、線路内などの立ち入り禁止場所で撮影をしたものや、公共の場所で迷惑行為をしているもの、未成年者が飲酒や喫煙をしているものなどです。

こうした投稿は、「自分の投稿なんて友だちしか見ないし大丈夫だろう」という考えでおこなわれています。

不適切な投稿は拡散されやすいものです。投稿を目にした人が自分のSNSにその情報を載せると、それを見た人が別のサイトに情報を載せ……といったように、あっというまに広まっていきます。

不適切な投稿を拡散されると、投稿者の個人特定がはじまる場合があります。インターネットには、不適切な投稿をした人をこらしめる目的や面白半分で、投稿者の個人情報を特定し、インターネット上で公開する人がいます。

一度インターネット上に個人情報をはりつけられると、あとから削除することはとても難しくなります。不適切な投稿と一緒に、自分の名前や学校名、顔写真、居住地などの情報がずっと残り続けていくことになるのです。



〇〇中学3年 〇〇部
■ ■ A太

投稿する前に内容の確認をしましょう

インターネット上の投稿は友だちだけが見ているわけではありません。知らない人に見られる可能性があることを意識して、誰に見られても困らないものか、投稿する前に必ず確認するようにしましょう。